

the  
27th. fukuoka prefecture/  
architectural  
award for  
artistic urban design

## 賞の部門

### ●住宅の部

- ・一戸建ての専用住宅。ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。
- ・長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。ただし、複合用途で住宅の部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

### ●一般建築の部

- ・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。

## 表彰の趣旨

今回で27回を迎えた福岡県美しいまちづくり建築賞は、福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与いたします。

## 選考委員会

相浦政士 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長

大森今日子 / 写真家

○大森洋子 / 久留米工業大学建築・設備工学科教授

岡田知子 / 西日本工業大学デザイン学部建築学科教授

菊竹清文 / 情報彫刻家

菊地成朋 / 九州大学大学院人間環境学研究院教授

◎工藤卓 / 元近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科教授

田上健一 / 九州大学大学院芸術工学研究院准教授

乗松昭一郎 / 福岡県建築都市部次長

藤田中 / 西日本新聞社編集局文化部長

50首順、敬称略、◎委員長、○副委員長

## 主催

福岡県建築都市部住宅計画課内

福岡県美しいまちづくり建築賞事務局

福岡県庁ホームページ 美しいまちづくり建築賞

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kenchikusyo.html>

お問い合わせ電話番号 / 092 643 3733

天神中央公園  
福岡県福岡市中央区天神1丁目3-46  
北緯33度35分25.5秒  
東経130度24分10.4秒



design and photo. tom.kawachi

# 第27回 福岡県 美しいまちづくり 建築賞

# 2014 第27回 福岡県 美しいまちづくり 建築賞

## 2014

主催 / 福岡県

協賛 / 一財：福岡県建築住宅センター

後援 / 独法：住宅金融支援機構九州支店

独法：都市再生機構九州支社

福岡県住宅供給公社

公社：福岡県建築士会

一社：福岡県建築士事務所協会

一社：福岡県建設業協会

公社：福岡県宅地建物取引業協会

一社：九州住宅建設産業協会

公社：日本建築家協会九州支部

一社：日本建築学会九州支部

公社：日本都市計画学会九州支部

特非：日本都市計画家協会福岡支部

福岡県ゆとりある住まいづくり協議会

the  
27th. fukuoka prefecture/  
architectural  
award for  
artistic urban design

## ご挨拶

福岡県知事  
小川洋

福岡県美しいまちづくり建築賞は、県民の皆様の美しいまちづくりへのご理解と事業者の方々の深い造詣のもと、年々優れた応募作品に恵まれ、今年度で27回目を迎えます。ここに深く感謝申し上げます。

本県では、県民の皆様一人ひとりが福岡県に生まれ、生活してよかったと実感できる「県民幸福度日本一」を目指し、地域社会の再生に取り組んでおり、県民生活の「安定」「安全」「安心」の向上に向け、さまざまな施策を展開しています。

その施策の取組方針のひとつに、「環境と調和し、快適に暮らせること」を掲げ、美しいまちづくりの推進に取り組んでおり、その一環として、福岡県美しいまちづくり建築賞を設けております。

本賞は、国際居住年(昭和62年)を契機に創設された「福岡県建築住宅文化賞」を、平成12年の「福岡県美しいまちづくり条例」制定に伴い、美しいまちづくりに対する県民意識の更なる醸成を目的に移行したものです。

建築物を建てることは、その用途に応じて便利さや快適さなど、さまざまな建築主の思いを形にすることが大きな目的ではありませんが、地域の方々の目に映り、地域の景観に取り込まれて社会的価値を生み、地域の文化を継承していくことが求められます。

そのような観点から本賞では、建築計画において特に優れており、個性豊かで美しく良好な景観形成に貢献している建築物を表彰し、県民の皆様にご紹介しています。

このような取組みを通して、「建築の役割」や「良好なまちづくり」について、県民の皆様にご浸透し、心の豊かさの向上を図り、また、県内の建築設計・施工に携わる方々の意欲向上につながることを期待しているところです。

選考にあたっては、今回も多数の応募作品の中から、選考委員会が厳正な審査を行い、住宅の部・一般建築の部から、優れた作品が選定されています。受賞作品はいずれも、魅力ある景観形成に寄与するとともに、次代の建築文化を切り開くすばらしい作品となっております。

今後も、地域への愛着や誇りを育み、快適で質の高い生活環境を生み出す原動力となるよう、より一層美しいまちづくりの推進に取り組んでまいります。どうか皆様におかれましても更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、選考委員会の各委員をはじめ関係者の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者並びに応募者の皆様の今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

## 総評

福岡県美しいまちづくり建築賞選考委員会 委員長  
元近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科教授  
工藤卓

本賞は「福岡県美しいまちづくり条例」にもとづく「次の世代に継承することができる景観の形成に資する建築物」を表彰する制度である。本年度で第27回目となる。本年度の表彰は、住宅の部と一般建築の部の福岡県知事表彰に加えて、「既存住宅を外観も含めてリフォーム・リノベーションした優れた建築物」を選考テーマとした一財：福岡県建築住宅センター理事長賞を設けている。

本年度の応募件数は、住宅の部が42件、一般建築の部が41件、総数83件であった。地域別には、福岡地域53件、北九州地域12件、筑豊地域7件、筑後地域11件であった。その中には、センター理事長賞の対象となる作品が11件あった。

賞の選考は、10名で構成する選考委員会が、1次、2次と最終選考に分けて実施した。第1次選考の応募書類審査会は10月9日に開かれ、部門別の投票によって県知事賞候補8作品、およびセンター理事長賞候補3作品を選出した。

第2次選考の現地審査は、11月17日と12月1日の2日に分けて実施した。現地においては、表彰対象者である設計者、建て主、施工者から建築内容の解説をいただき、設計の独創性、建築の技術、景観との融合性、建て主の満足度などについて理解を深めた。最終選考は、現地審査2日目終了後の選考委員会にはかられた。

住宅の部の現地審査4作品は、すべてアトリエ系建築事務所が設計した戸建て住宅で、建て主の期待に沿う建築計画と、地域環境を生かした意匠設計に対する情熱を強く感じるものであった。このうちの2作品は新築住宅で、他の2作品は築4、5年を経た住宅であった。竣工もない作品の審査では、設計の社会的な提案性とその空間表現が、評価の主な関心とされるが、築数年を経た住宅作品では、「どう使われているか」という「暮らしの美しさ」の視点も加わって評価された。最終選考は、各作品の評価を討議したのちの投票によっておこなわれ、大賞に新築RC造「大池の住宅」を、優秀賞に築5年の木造「志摩の家」を選出した。

一般建築の部の現地審査4作品は、それぞれの用途が異なるものの、共通して公共性の高い建造物であった。そのうちの2作品は、保存・再生・活用に関わる歴史的建造物であり、永く市民に親しまれてきた建築に対する社会評価の成熟を感じさせた。4作品とも地域の景観形成にすぐれ、本賞にふさわしい社会的意義のある作品と評価されたが、最終的には、住宅の部と同様の選考によって、大賞に九州大学「椎木講堂」、優秀賞に北九州市「戸畑図書館」を選出した。

センター理事長賞候補の現地審査は、選考委員2名とセンター役員1名により11月26日に実施した。同日、最終選考もおこなった。

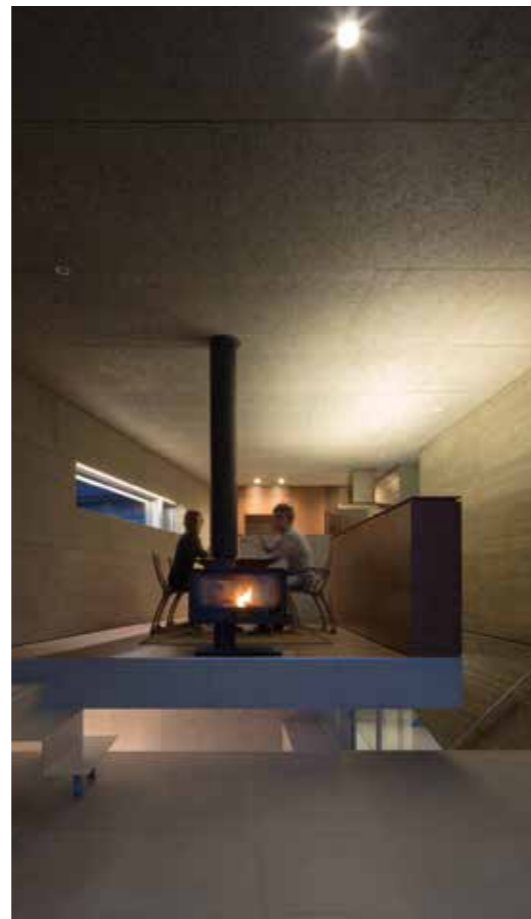
最終選考対象となった3作品は、賃貸マンションから分譲マンションに一棟ごと改造した作品、賃貸マンションを居住者参加型方式によって改修した作品、文化財指定された江戸期武家住宅の歴史展示型復元作品であった。評価する視点は異なるが、どの作品からも、その建築が蓄積した過去の時間に敬意を表すことで、これからのストック活用時代の住宅文化を創造していこうとする前向きな姿勢を理解することができた。

最終選考は、リフォーム・リノベーション部門を選考テーマとした意義を問う選考となった。結果的には、改修前の意匠を付加価値として生かす発想に新規性がある作品「“時代移植” The Times Transplantation Building」を選出した。

住宅の部  
大池の住宅  
所在地：福岡市南区



撮影：石井紀久



#### 設計者

松山建築設計室 松山将勝  
〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前4丁目25-14 ヒロビル8階  
TEL 092-433-1128 FAX 092-433-1138  
URL <http://www.matsuyama-a.co.jp/>

#### 建築主

個人

#### 施工者

株式会社若杉建設 代表取締役 若杉良富

#### 用途

一戸建ての住宅

#### 構造規模

鉄筋コンクリート造2階建て

#### 設計趣旨

大池の住宅は、立地条件の過酷さによって導き出された建築である。

敷地は3mの高低差を持つ袋小路の旗竿地であり、上下に分断されている敷地を土木的な造成ではなく、建築によって接続していく手法を選択している。その行為によって施工の難易度は圧倒的に高まるものの、断面から発生する空間の可能性を探りながら、狭小地での物理的な広さの限界を突破したいと考えた。また一方向に開かれた眺望を獲得するため内部空間は眺望の方向に従いながら展開されており、この場所が持つ敷地の軸と眺望の軸によって建築の建ち方が決定されている。大池の住宅は周辺環境で多く見られる狭小地で高低差を持つ敷地での建築の可能性について考えた住宅である。

#### 講評

福岡市内の丘陵樹林を背景にしたこの住宅建築は、「見る・見られる」双方の景観美に挑戦した劣作である。特に、焼杉板を型枠に使用したコンクリート打ち放しの「壁」の造形からは、丘陵住宅地の景観美を創る3つの創意工夫を読み取ることができる。

第1は、建築壁面の立ち位置を、旗竿地奥の旗地に限定していることである。その結果、竿地は外部空間として残され、その空隙の向こうに開ける風景を、道端から「垣間見る」景観美を創りだしている。第2は、建築の間口を狭めて、壁面をすらすりと造形することで、周辺環境から際立って「垣間見られる」景観美を創りだしている。第3は、室内吹抜の構造壁面を、眺望が良好な方向に角度を振ることで、遠景を「見晴らす」景観美を創りだしている。

コンクリート「壁」の肌は木目こまかく、先端は直角や鋭角にとがり、その重さに対しては浮遊感を感じさせる斜線が造形され、完璧な仕上がりをみせている。こうした景観美を創りだす役割を担った「壁」からは、旗竿狭小地での困難な工事が想像される。戸建ての個人住宅であっても、公共の美しいまちづくりに資する景観美を構想した設計者の創造力と、建て主の理解力、近隣の協力、施工者の力量のそれぞれを強く感じる作品である。



一般建築の部  
椎木講堂  
所在地：福岡市西区



撮影：吉田誠/日経アーキテクチュア



撮影：吉田誠/日経アーキテクチュア



撮影：吉田誠/日経アーキテクチュア



撮影：内藤興建築設計事務所

#### 設計者

株式会社内藤興建築設計事務所 代表取締役 内藤 廣  
〒102-0074  
東京都千代田区九段南2-2-8 松岡九段ビル301  
TEL 03-3262-9636 / FAX 03-3262-9804  
URL <http://www.naitoaa.co.jp/>

#### 建築主

国立大学法人九州大学 総長 久保千春

#### 施工者

株式会社竹中工務店 九州支店 執行役員 支店長 長谷川隆一

#### 用途

講堂

#### 構造規模

鉄筋コンクリート造 鉄骨造(大屋根) 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階建て

#### 設計趣旨

「椎木講堂」は、創立百周年を迎えた九州大学が、福岡市郊外の伊都キャンパス移転の中核と位置付ける重要施設。敷地は、伊都キャンパスの入口であり、造成地の山裾に位置する。

用途は大学の主要行事を行なう3,000人収容の講堂に加え、学内外の多目的利用に対応。

平面計画は、半屋外空間のガレリアを介して講堂と本部棟が対峙する構成。講堂は、可動壁によって1,000人の小ホール、5つの階段教室に可変可能。

建物構成は直径100mの屋根を冠した象徴的な外観を持ち、外装には、箱崎キャンパスのシンボルであった旧工学部本館の外壁タイルと同じものを使用し、歴史の継承を図った。

#### 講評

地元篤志家の寄附によって実現した円筒形の大学講堂が、新キャンパス計画の象徴にふさわしく圧倒的な存在感を放っている。大学の各種式典のほかにも、クラシックコンサートを開催できる3,000人収容の大ホールの実現には、奇跡的と評価されるほどの音響技術が駆使されているという。こうした高度な建設技術が関わりあう多目的大ホールを創造した熱意の結晶には驚くばかりである。

特に円筒形壁面の外装には、昭和5年に建設された旧工学部本館外装のスクラッチタイルや、テラコッタ装飾の視覚的心象を引き継ぐ特製のレンガタイルを貼り、大学の伝統を表象するような重厚な風格をみせている。せっ器質タイル特有の色ムラを一枚一枚吟味した10種類のレンガタイルは、総数35万枚も使用され、外装接着剤を用いた新工法によって貼りめぐらされているという。

整備計画が半ばの建築群が創り出す新キャンパスの景観に、この講堂建築が定着するまでには、まだ時間がかかると感じられる。しかし、仰ぎ見るレンガタイルが圧倒するこの巨大な円筒形の外観意匠は、いずれ学生たちにとって、大学の歴史と伝統を心に刻むランドマークとして親しまれることになるのだろう。



撮影：吉田誠/日経アーキテクチュア



撮影：ミヤザキツカサ



撮影：吉田誠/日経アーキテクチュア

## 優秀賞

住宅の部  
志摩の家  
所在地：糸島市

設計者 田中俊彰設計室 田中俊彰  
〒810-0024  
福岡市中央区桜坂1丁目8-6  
TEL 092-403-3987 / FAX 092-761-3987  
URL <http://www.h4.dion.ne.jp/~ta-000/>

建築主 個人  
施工者 千早建設株式会社 代表取締役 長智幸  
用途 一戸建ての住宅  
構造規模 木造一部鉄筋コンクリート造平屋建て

## 設計趣旨

敷地は福岡市中心部より車で約40分、海への眺望が開けた高台に位置しその周辺は木立に覆われている。既存の木々の伐採を最小限にすること、南側にのぞむ海岸と対岸の山並みを借景にすることを基本的な条件とした。

建物の構造は木造の在来工法である。屋根、外壁は銅板で覆い、暴風対策のため開口部や軒高は低く抑えられている。内部は中心に居間、食堂が位置し、その両側に各諸室を配置している。また開口部からは各々の周辺の風景を切り取ることができる。

自然の素材を使用した単純な住空間の構成ではあるが、巾木や廻り縁にはアルミやステンレスを用いるなど、在来のディテールに頼ること無く新たな現代的な住環境の表現を試みている。



## 講評

建て主の自然への回帰願望が結実した環境共生型の郊外住宅である。旅先で買い集めた美術作品を飾る居間・食堂は、糸島半島の海からの風と、背後に控える照葉樹林の風が行き交う道になっている。浴室に差込む陽光は、入射角度が綿密に計算されて、白い楕円の浴槽に反射している。コレクション室兼用の大型ガレージは、その一部が地中に埋め込まれ、屋根に覆土することで新たな自然の景観を創りだしている。

外観をかたちづくる銅板葺きの外装は、年月を重ねた独特の風合いをみせている。注意深く雨だれを防いだ打放しコンクリート面にも汚れがない。室内の壁・天井の白漆喰、床の灰色漆喰タイルからは、素材のやさしさが伝わってくる。内装を飾るチーク材は、施工した工務店が長い時間をかけて温めてきた木材だという。こうした自然素材が響き合う建築の細部意匠が、この住宅の内外的空間を印象深いものになっている。

築5年を経たこの住宅には、伝統的な日本家屋のように、自然に開放された居心地のよい空間美がある。こうした凛とした空間美は、建築家が創りあげた環境共生空間に寄り添う建て主の暮らしの美意識と、自然環境に委ねる日常生活の創造力が生み出しているものなのであろう。



撮影：©Kouji Okamoto



## 優秀賞

一般建築の部  
北九州市立戸畑図書館  
所在地：北九州市戸畑区

## 設計趣旨

北九州市戸畑区に位置する築81年の旧区役所庁舎を耐震補強し、図書館に再生するプロジェクトである。帝冠様式の旧庁舎のシンボルである塔屋、重厚なスクラッチタイル仕上げの外観を保存する為、建物内部のみで耐震補強を施した。戸畑地区は八幡製鐵、新日本製鐵などの鉄鋼産業と共に発展した地区であり、戸畑の製鐵の歴史を内部空間に創出させる補強がこの建物には相応しいと考え、アーチフレーム補強を提案した。既存躯体補修、コンクリートの中性化対策を施して躯体の健全化を行い、トップライトや吹抜けによって建物の軽量化を図っている。このような試みが歴史的建築物の新しい保存のあり方となることを期待している。

## 講評

建築の歴史的価値を尊重した「保存・再生・活用」は、持続可能な都市景観をめざすこれからの社会にとって重要な課題である。旧戸畑市役所を転用して使い続ける戸畑図書館は、こうした課題に応えた建築として注目される。

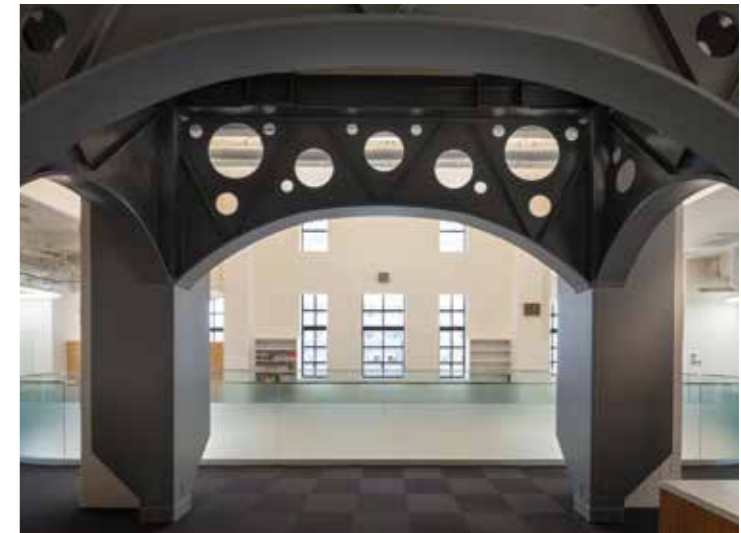
スクラッチタイルやアール・デコ様式の装飾が印象的な旧戸畑市役所は、官営製鐵所が発展を続ける行政区の庁舎として、福岡県営繕課が設計して昭和8(1933)年に竣工した近代建築である。昭和38(1963)年の北九州市発足時には、初代本庁舎として利用された。その際に増築された庁舎棟は、旧庁舎棟の高さに合わせた3階建てで、その外観は3段の水平連続窓がデザインされたモダニズム建築であった。そうした新旧の近代建築が折り重なった都市景観は、戸畑祇園大山笠競演会場の背景ともなっており永く市民に親しまれ、市民文化遺産として保存される価値をもっていた。

今回の図書館への転用は、限られた予算と各区図書館の統一規模の関係から、旧庁舎棟のみの活用となった。また、建築の外壁は保存対象となったが、当初にデザインされた内装や様式装飾、市役所時代の空間的痕跡などの保存・再生・活用は計画外とされた。

こうした厳しい要件のもとで実施された「鋼材アーチフレーム」を挿入した耐震補強は、設計者の建築構造技術に関する探究心や経験の成果として、独創性があり興味深い。

設計者 株式会社青木茂建築工房 代表取締役 青木茂  
〒810-0072  
福岡市中央区長浜1-2-6-206  
TEL 092-741-8840 / FAX 092-741-9352  
URL <http://www.aokou.jp/>

建築主 北九州市  
施工者 鴻池・九鉄特定建設工事共同企業体  
代表者 株式会社鴻池組 九州支店 執行役員 支店長 竹下浩  
用途 図書館  
構造規模 鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階 塔屋3層



撮影：上田宏(上田宏建築写真事務所)



撮影：上田宏(上田宏建築写真事務所)

## 住宅の部

HOUSE S

所在地 福岡市南区

設計者 平野公平建築設計事務所 代表 平野公平

〒810-0074 福岡市中央区大手門1-9-1第3IRBLD.225



撮影：Y.Harigane (Techni Staff)

## 住宅の部

八幡の家

所在地 北九州市八幡西区

設計者 池下成次建築設計室一級建築士事務所 池下成次

〒804-0031 北九州市戸畑区東大谷1丁目14-17-4F



撮影：イクマ サトシ

## 一般建築の部

嘉穂劇場

所在地 飯塚市

設計者 松井建設株式会社 代表取締役社長 松井隆弘

〒104-8281 東京都中央区新川11-17-22



ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。

福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては、福岡県庁ホームページにもご覧いただけます。

一般財団法人福岡県建築住宅センター

## 理事長賞

選考テーマ：住宅のリフォーム・リノベーション

“時代”移植 / The Times Transplantation Building

所在地：福岡市博多区

## 設計趣旨

今世紀初頭、時代の転換期に始まった文化移行現象「リノベーション」とは、近代ライフスタイルが完成し、不動産が「大衆」に開放された後の、フラットで多様な価値が混在する底の抜けた世界で、大衆主体により、身体の延長としての自分空間へ、既存空間をリ・イマジネーションすることである。目的はあくまで建物を尊重し寿命まで使いきること、そのための一手段がリノベーション。設計趣旨は、新築を絶対価値としたリフォーム時代が変わる、新しい価値を再創造すること、つまり、時間と価値をリ・イマジネーションするデザイン。47年前、建設当時の時代様式に“今”を移植、異なる時代様式が並列する時代様式並列空間がそれである。

## 講評

この作品は、高度経済成長期に建てられた賃貸マンションの「リフォーム・リノベーション」の一事例である。主室は既存の和室仕様の紙障子戸と地袋を残し、解体された中央部に白いストリングカーテンを円状に配置している。コンクリートが露出された天井には黒い電線管が張られ、そこから白い電燈ボールが吊られている。その下では数台のコンピュータ画面が高速に動いている。こうした空間は、あたかも前衛の舞台美術にもみえてくる。

ここには通常の原状回復工事とは異なる改修法の提案がある。ビルオーナーと借り手が共同して、建設当初のすぐれた和風意匠を付加価値として残し、新しく必要な設備や機能をくわえて、居住者好みの形態に更新していく、新規性のあるデザイン手法である。

このマンションでは、こうした日曜大工感覚で更新をおこなう居住者参加型の改修事例が、住戸44室中の33室で既に試みられている。中古の住戸であるがゆえに、意匠や住まい方に制約のない多様な改修が可能になっている。中古の有効資源を上手に長く使い続けていく発想は、現代の成熟した生活文化にふさわしい。スクラップ・アンド・ビルドに代わるこうした発想が、今後の住宅市場における社会的共感として広がることを期待したい。

設計者

信濃設計研究所 / nano Architects 信濃康博

〒812-0016

福岡市博多区博多駅南 4-19-5-305

TEL 092-409-0999 / FAX 092-409-0995

URL <http://www.nano-architects.com/>

建築主

吉原住宅有限会社 代表取締役 吉原 勝己

施工者

シーズ・クリエイションズ株式会社 井田 美香

用途

賃貸マンション



撮影：日高康智 (air studio)



リノベーション前

## 理事長賞選外佳作作品

## 旧田代家住宅

所在地 朝倉市

設計者 国立大学法人九州大学芸術工学研究院 歴史環境研究室  
教授 宮本雅明 学術研究員 松尾光一  
〒815-0032 福岡市南区塩原4-9-1

## 西鉄サンリベラ・プライム 天神大名レジデンス

所在地 福岡市中央区

設計者 企画・総合監修 株式会社リビタ 相澤佳代子  
実施設計・監理 株式会社JIN建築設計 中村正次郎  
基本設計！共用部・専有部プレミアゾーン  
横堀建築設計事務所 横堀健一  
基本設計！専有部スーパーゾーン  
アトリエ エツコ 一級建築士事務所 山田悦子

## 09 | 10 一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞

建築賞応募作品のうち、既存住宅を外観も含めてリフォーム・リノベーションしたもので、美しいまちづくりに寄与する建築物（リフォーム・リノベーション後の用途は問いません）を、「大賞」「優秀賞」受賞作品を除いたものから選考委員会が推薦し、一財：福岡県建築住宅センター理事長が決定しました。

## 一般財団法人福岡県建築住宅センター

www.fkjc.or.jp/

お問い合わせ先 / 092 781 5169

## 建築住宅センターの住まいづくりサポート

## 住宅相談

専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談

## 住まいづくり教室

一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催

## 住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度

耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣

## 生涯あんしん住宅

在宅ケア対応モデル住宅の展示

一般財団法人福岡県建築住宅センターは  
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています

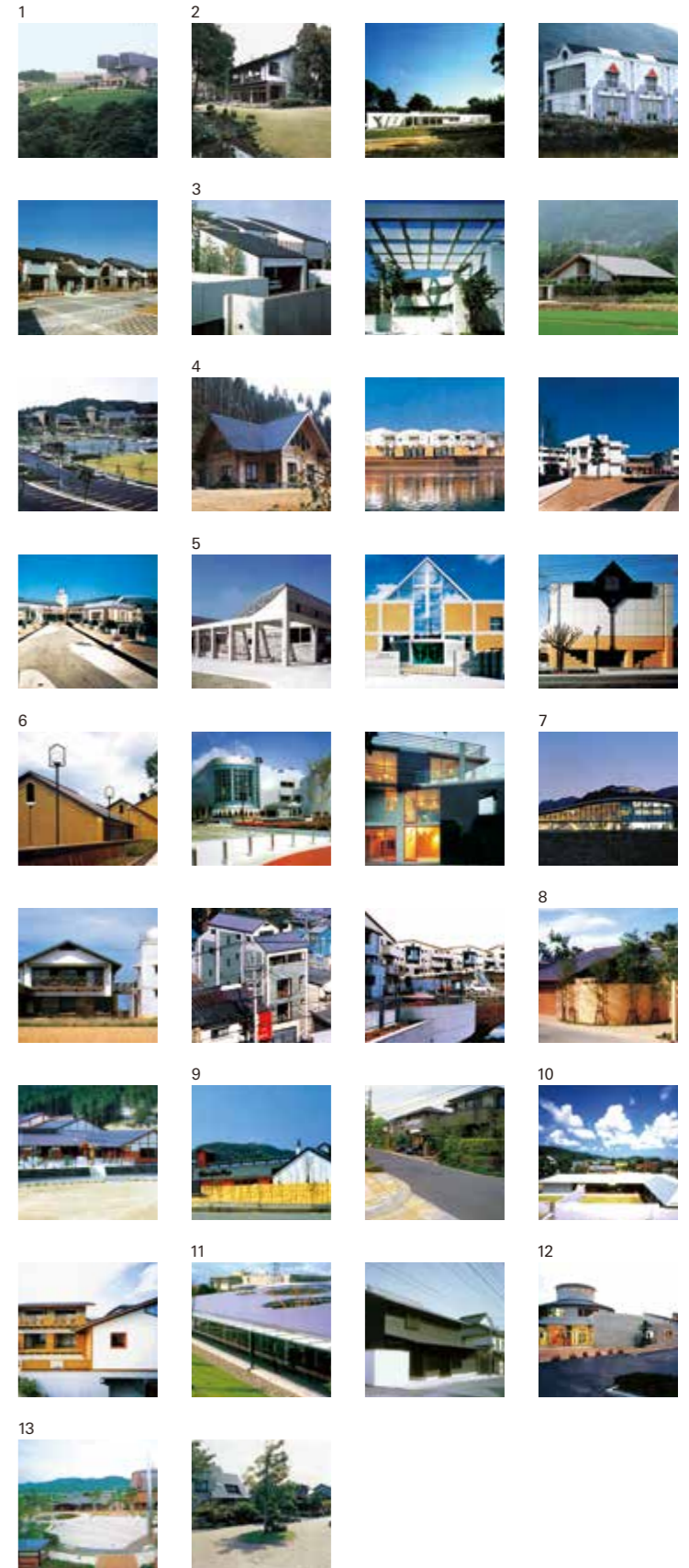
一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として1978年（昭和53年）に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応じてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通して消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通して、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性（定期報告）に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造審査業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。

これまでの  
福岡県美しいまちづくり建築賞

[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞]大賞受賞作品

第1回福岡県建築住宅文化賞  
昭和63年度 北九州市立美術館第2回福岡県建築住宅文化賞  
平成元年度 石橋別邸第一水明荘、福嶋医院、  
花園幼稚園、ピレヅジ香月第3回福岡県建築住宅文化賞  
平成2年度 松口邸、的野歯科医院、  
立花の家、グリーンピア八女第4回福岡県建築住宅文化賞  
平成3年度 進藤邸、不知火病院"海の病棟"、  
山田市立山田小学校、  
福岡ウォーターフロントプロムナード"マリゾン"第5回福岡県建築住宅文化賞  
平成4年度 苅田町立図書館、明治学園高等学校体育館、  
カルタックスおおむた第6回福岡県建築住宅文化賞  
平成5年度 田川文化エリア、福岡県青少年科学館、  
佐田邸(4世代の家)第7回福岡県建築住宅文化賞  
平成6年度 茶の文化館、二丈町の家、  
山笠の家(橋本邸)、西大谷第2団地(市営住宅)第8回福岡県建築住宅文化賞  
平成7年度 縄田邸、上陽町立尾久保小学校第9回福岡県建築住宅文化賞  
平成8年度 碓井琴平文化館、新宮湊坂第10回福岡県建築住宅文化賞  
平成9年度 鞍手の家、太宰府長浦台の家第11回福岡県建築住宅文化賞  
平成10年度 瀬高町立図書館・歴史資料館、  
山村留学ふれあい館(筑穂学舎)第12回福岡県建築住宅文化賞  
平成11年度 山田市立下山田小学校第13回福岡県美しいまちづくり賞  
平成12年度 めくばーる三輪、青葉台ほんえるふ

## これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞

[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞]大賞受賞作品

### 第14回福岡県美しいまちづくり賞

平成13年度 大野城の住宅、ひふ科いのらくクリニック、  
八女市多世代交流館「共生の森」

14



15



### 第15回福岡県美しいまちづくり賞

平成14年度 City Cube、篠栗幼稚園

### 第16回福岡県美しいまちづくり賞

平成15年度 SHIMA STYLE、渡辺クリニック姪浜、247



### 第17回福岡県美しいまちづくり賞

平成16年度 カルシア小戸ナチュア

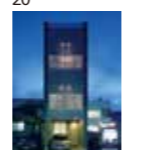
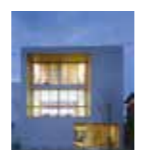
### 第18回福岡県美しいまちづくり賞

平成17年度 昭和初期和風住宅の移築プロジェクト、  
西南学院中学校・高等学校、  
伊田堅抗櫓二本煙突〈景観賞〉



### 第19回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成18年度 TERZETTO(テルツェット)、中村製紙所新社屋

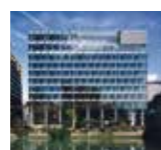


### 第20回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成19年度 須崎の長屋

### 第21回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成20年度 東神原の家、アクア博多



### 第22回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成21年度 ベットと暮らす家[K邸減築工事]、天神MENTビル



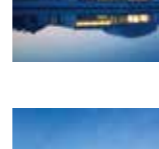
### 第23回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成22年度 豊前の家、下川歯科医院



### 第24回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成23年度 むさしヶ丘の住宅、築上町火葬場



### 第25回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成24年度 四季の家、料亭 嵯峨野



### 第26回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成25年度 Obi house、筑紫保育園 分園

